

地域の 公共施設の 未来を考えるワークショップ

全3回

託児
あり

川崎市には約 1,100 の公共施設があり、市民の日常生活に必要なサービスを提供しております。しかしながら、施設の老朽化や人口減少に伴い公共施設の維持のための市民 1 人あたりの負担の増加が見込まれること等が懸念されます。

こうしたことから、本市では、令和 4 年 3 月に「資産マネジメント第 3 期実施方針」を策定し、地域ごとの資産保有の最適化に向けた取組を進めております。

今年度は、お住まいの地域にある「公共施設の未来」を、皆様と一緒に考えるためのワークショップを開催します。

ぜひ御参加いただき、皆様の御意見をお聞かせください。普段から施設を利用する方はもちろん、利用しない方の御参加も大歓迎です！

公共施設を
こんな風に
使いたいな



【参考】

- ・資産保有の最適化とは、利用状況や将来の利用想定等を踏まえ、施設の複合化や多目的化等の手法を用いることにより、施設の適正配置を図る取組です。
- ・令和 5・6 年度には施設の老朽度・利用状況等を基に選定したモデル 4 地域において、ワークショップなどを実施し、令和 7 年度に「モデル 4 地域における資産保有の最適化に向けた取組方針」を策定しております。
- ・これまでの取組状況については、裏面の二次元コードより市ホームページを御参照ください。

※幸区の該当地域にお住まいの満 15 歳以上の方（令和 8 年 4 月 1 日現在）の中から、無作為抽出により御案内を送りしています。

※申し込み方法については裏面を御確認ください。

日時・場所・ワークショップの内容

※ 各回 2 時間半～3 時間を想定しています

第 1 回

令和 8 年
12 月 6 日（日）
14:00 ～

幸区役所 4 階
第 2 ～ 第 4 会議室

・「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」で資産マネジメントについて理解を深めよう

第 2 回

令和 9 年
1 月 23 日（土）
14:00 ～

幸区役所 4 階
第 2 ～ 第 4 会議室

・地域内の施設や周辺の状況について川崎市から説明します
・地域の未来に向けた施設のより良い使い方・必要と思われる機能の検討をしよう

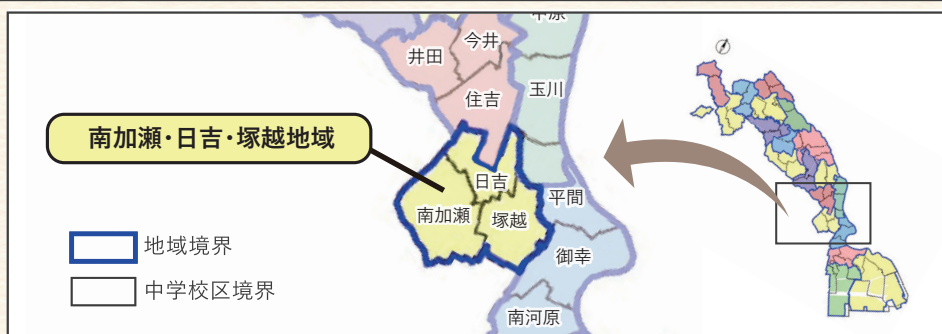
第 3 回

令和 9 年
2 月 21 日（日）
14:00 ～

幸区役所 4 階
第 2 ～ 第 4 会議室

・第 2 回と同じ内容で、対象施設を変更して行います
・ワークショップのまとめ

今年度、幸区では、「南加瀬・日吉・塚越地域」を対象にワークショップを行います。



※地域ごとの取組を進めるため、地形・鉄道路線・バス路線等の状況、町内会・自治会のエリア等を踏まえ、2～4 程度の中学校区単位を基本とした地域を設定しています。

申込み方法

参加を希望される方は、令和 8 年 10 月 21 日（水）までに、以下のどちらかの方法で御応募ください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。御了承ください。

- ① 同封の参加申込書に必要事項を記入し、返信用封筒に入れて投函（切手不要・消印有効）
- ② 右側記載の二次元コードを読み込み、オンラインフォームからお申込み



参加にあたっての連絡事項

- 御参加いただく方は、あて名の御本人様になります。
 - 御参加いただく方には、1 人 1 回あたり 1,000 円の謝礼（クオカード）をお支払いします。
 - 本ワークショップは複数回開催します。本市の資産マネジメントに関する考え方や、地域の公共施設やまちの状況について皆さまと共に理解を深めながら検討を進めるため、**原則として各回を通じて御参加いただくこと**をお願いしています。
 - 託児を無料で御利用いただけます。人員の確保のため、御利用を希望される可能性のある場合は参加希望とともにお知らせください。
 - 参加にあたり、配慮を希望される事項がございましたら、「参加にあたっての配慮事項」欄に御記入ください。
 - 参加が決定した方には、開催の 1 週間前を目途に、開催の案内を送付いたします。
- なお、応募者多数により抽選を行う場合、当選は発送をもって代えさせていただきます。

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」って？

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくかという「資産マネジメント」の考え方などについて、楽しく遊びながら理解を深められる本市オリジナルのボードゲームです。

第 1 回目のワークショップでは、このゲームを活用しながら資産マネジメントの考え方について理解を深めます。



「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」



「カワタン」は、ゲームに出てくる架空のまち、「カワサキタウン」のことだよ。

取組の詳細はこちら

地域ごとの資産保有の最適化について

検索



身近な地域について一緒に考えてみませんか

【お問い合わせ先】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

電話 044-200-0754、044-200-0755

（土・日・祝を除く 8:30～12:00、13:00～17:15）

FAX 044-200-3627

Email 17koukyo@city.kawasaki.jp

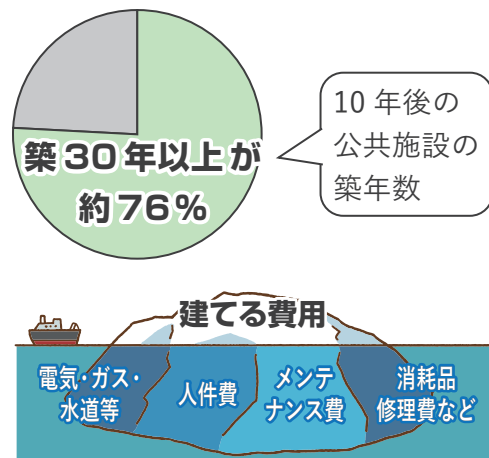


川崎市

川崎市の公共施設を取り巻く現状と課題

市の公共施設の老朽化が進みます

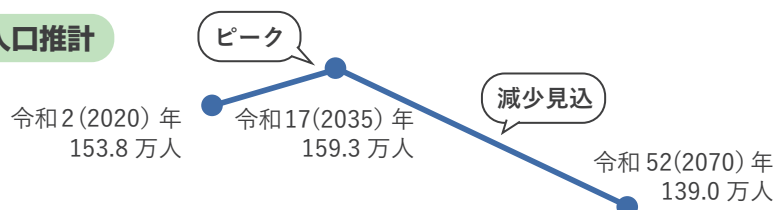
- 市の公共施設は、10年後には約76%が築30年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う問題が懸念されています。
- また、建築時の費用は氷山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、より多くの費用が必要となる状況です。



人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和17(2035)年頃における約159.3万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1人あたり m^2 数(公共施設の床面積 ÷ 人口)が増加し、公共施設を維持するための市民1人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計



以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

更に市民ニーズと公共施設の使われ方の現状に「ずれ」が発生している状況です

- 地域において様々な活動が行われており、公共施設が活躍の場としての役割を果たしていく必要がありますが、多様な市民ニーズと公共施設の使われ方の現状に「ずれ(ミスマッチ)」が発生している状況です。

空いているようだけど個人では使えない…



利用対象が団体に限定されていて利用できない。

仕事後の夜に使いたいのに施設が閉まっている



利用可能な時間帯と利用したい時間帯が合わず利用できない。

今ある公共施設を、みんなで大事に賢く使っていくことが必要です

地域ごとの資産保有の最適化に向けて

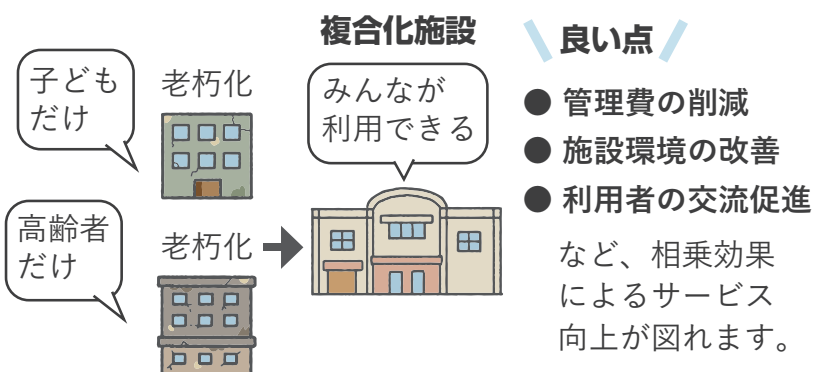
市民負担を変えずに、市民サービスの質の維持・向上をはかるためには

- 当面の人口増加に対応しつつ、公共施設の床面積を増やさないようにしながら、必要な機能・サービスを提供していくことが必要です。
- 今ある公共施設の使い方の見直しや施設の複合化等、本市が保有する施設を有効に活用することで、持続可能なサービスの提供及びより一層利用しやすい環境を目指していくことが重要です。

施設の複合化、多目的化のイメージ

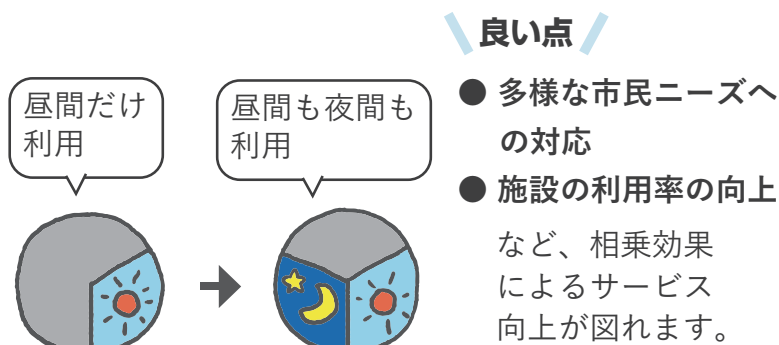
複合化

施設の建て替えなどの際に、異なる施設を一緒にします



多目的化

利用しない時間帯や未稼働の空間を有効に使います



ぜひ、皆さんの御意見をお聞かせください

